平成27年度

現場から描く これからの地域医療

少子高齢化や価値観の多様化等により医療に対するニーズが高まる一方で、医師や医療機関の偏在など、地域医療をめぐる様々な問題が発生しています。この研修では、医療・介護・福祉の連携により在宅医療をどのように進めるか、また、健（検）診の受診率を上げることにより医療サービスの受診をいかに減らしていくか等、自治体現場から持続可能な地域医療について考えていきます。

研修の内容

講義、事例、グループワークを通じて次のことを考えます

◇医療・介護・福祉の連携で在宅医療をどのように進めか。
◇データ等の活用で医療サービスの受診をいかに減らしていくか。
◇市町村が医療機関や住民と連携していかに地域の医療を支えるか。
◇医療機能の再編をどのようにして進めるか。

開　催　要　領

日　程	平成27年10月28日（水）～10月30日（金）（3日間）
場　所	全国市町村国際文化研修所　JR京都駅より湖西線約15分　唐崎駅下車徒歩約3分
対　象	地域医療に携わる市区町村職員及び病院等の職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご留意ください（各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。）。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。
募集人数	40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿　泊	研修所宿泊棟（宿泊型研修）　※外泊はできません。
経　費	10,500円 上記金額は、研修、宿泊、食事（朝食2回、昼食3回、夕食2回）、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	平成27年9月16日（水）まで
申込方法	JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。 「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
TEL077-578-5932　FAX077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp　[ホームページ] http://www.jiam.jp

[研修の内容及び日程]

10/28（水曜日）

11:00～ **入寮受付・昼食**

12:30～ **開講・オリエンテーション**

13:00～14:30 **【講義】医療機関・住民とともに地域医療を支える取り組み**

自治医科大学地域医療学センター長　**梶井　英治** 氏

地域医療が抱える課題について、今後の方向性も含めてお話しいただきます。3日間の研修期間中に受講者のみなさんに考えていただく問題を提起していただきます。

14:45～16:15 **※【事例紹介とグループワーク①】住民と連携した地域医療を支える取り組み**

愛知県津島市健康福祉部福祉課 課長　**安藤　公一** 氏

津島市では、地域の病院等と連携して住民に対する講演会を継続して実施をされました。それによって、住民から地域医療を守ろうといった気運が高まり、ボランティア組織の設立につながり、住民が主体となった地域医療の啓発活動が行われるようになりました。その一連の取り組みをご紹介いただきます。

16:25～17:55 **※【事例紹介とグループワーク②】データを活用した医療費適正化の取り組み**

広島県呉市福祉保健部保険年金課 課長　**山川　聡吉** 氏

呉市では、レセプト等のデータを活用し、後発医薬品の使用促進、重診対策、受診勧奨などを行い医師の負担軽減や医療費の適正化に取り組まれています。その取り組みは、全国的にも注目が集まり「データヘルスの推進について」（平成26年7月10日厚生労働省医療費適正化対策推進室）の中でも先進自治体として紹介をされています。

18:15～19:30 **車座セミナー**

ともに学ぶ受講者同士の親睦（情報交換・交流）を深めます。

10/29（木曜日）

9:00～10:35 **【講義】これからの地域医療における市町村の役割**

自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門助教　**古城　隆雄** 氏

これからの地域医療における市区町村の役割や今後の地域医療を描くために必要な視点についてご講義いただきます。

10:45～12:15 **※【事例紹介とグループワーク③】在宅医療を充実させるための取り組み**

滋賀県大津市健康保険部保健総務課企画総務グループ
兼 長寿政策課地域包括ケア推進室　保健師　**坂口　和代** 氏

大津市では、平成25年度「在宅医療推進地域モデル事業」（滋賀県）、平成26年度「都道府県医療介護連携調整実証事業」（厚生労働省）に参加し、医療福祉推進協議会の設置、医療介護・多職種連携の推進、退院ルールの策定など在宅医療の充実に向けた取り組みをされております。これら取り組みをご紹介いただきます。

13:10～14:40 **※【事例紹介とグループワーク④】医療機能の再編**

岐阜県郡上市県北西部地域医療センター長　**後藤　忠雄** 氏

後藤氏は、へき地医療を支える仕組みづくりや郡上市を中心に基幹医療機関やへき地医療の位置付けの整理などより広域的なネットワークで地域医療に取り組む仕組みづくりに携わってこられました。その取り組みについてご紹介いただきます。

14:50～17:00 **【課題演習】グループ討議**

グループ討議指導：**梶井 英治** 氏、**神田 健史** 氏、**古城 隆雄** 氏

17:00～ **課外学習**

10/30（金曜日）

9:25～14:10 **【課題演習】発表・講評**

講評：**梶井 英治** 氏　**神田 健史** 氏　**古城 隆雄** 氏

小グループでディスカッションいただいた内容について、グループ毎に発表していただき、さらに議論を深めていきます。最後に、講師から講評していただき、研修全体のまとめを行います。

14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

※【事例紹介とグループワーク】については、事例紹介を 60 分していただいた後、10 分の質疑応答を経て、最後 20 分程度、受講者のみなさんでグループワーク (討議) をしていただきます。
グループワーク（討議）は、梶井英治氏、神田健史氏、古城隆雄氏に指導していただきます。

講師プロフィール

自治医科大学地域医療学センター長　梶井　英治（かじい えいじ）氏

鳥取県出身。昭和53年に自治医科大学を卒業。鳥取県立中央病院でのローテート研修を経て、地域医療に従事。その後、母校に帰り、幅広い研鑽を積み、平成10年に地域医療学教授、平成13年から総合診療部長を兼務し、平成20年4月より地域医療学センター長に就任。現在、総合医の育成、そして、地域医療に関わる研究活動に従事しながら、地域医療の充実へ向けて地域における啓発活動に取り組んでいる。厚生労働省地域医療再生計画に係る有識者会議、総務省定住自立圏構想の推進に関する懇談会等の委員を務める。

新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課参事　神田　健史（かんだ たけふみ）氏

平成11年自治医科大学卒業。新潟県福祉保健課にて新潟大学、新潟県立中央病院での研修後、佐渡市立両津病院、佐渡市立相川病院等、離島、へき地で6年間診療に従事する。へき地に勤務中より、首長、議員、NPO団体関係者と連携し地域医療の充実に努力。平成20年、9年間の義務年限終了後、自治医科大学地域医療学センターに戻り、全国各都道府県各市町村での地域医療充実のための活動を精力的に行った。平成27年から現職。

自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門助教　古城　隆雄（こじょう たかお）氏

平成15年慶應義塾大学総合政策学部卒業。平成23年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科にて博士号取得。現在、自治医科大学地域医療学センター地域医療学部門助教。専門は医療政策、社会保障論。自治医科大学で医師の協力の下に、医師の視点も踏まえた新しい政策研究を追究しているほか、東海大学、慶應義塾大学において非常勤講師として社会福祉や医療政策を教えている。著書に「生命と自由を守る医療政策」（東洋経済新報社）がある。

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。
　なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。
◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所でお願いいたします。

JIAM メールマガジンのお知らせ

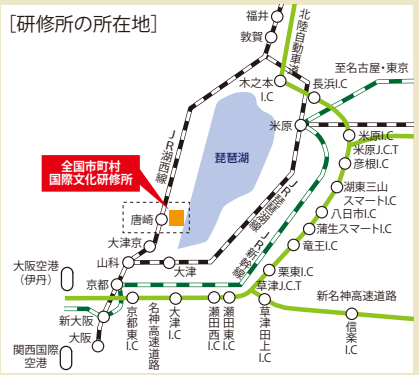
当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAM ホームページで受け付けています。

夏季における軽装について

当研修所では、地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため、夏季の期間（5月1日から10月31日まで）は、「ノー上着・ノーネクタイ」などの軽装での受講を推奨しており、職員も軽装で執務しております。公務研修の場における服装として品位が保てる軽装で受講してください。

研修所までの交通のご案内

■最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
■JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
■JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



FAXでのお申込は矢印の方向に

平成27年度 受講申込書

研修名及び時期	現場から描くこれからの地域医療 平成27年10月28日（水）～10月30日（金）（3日間）			
市区町村コード番号			※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で記入してください。 （例：１２３４５－６の場合、１２３４５６と記入）	
団体名	都道府県		市区町村組合	
所在地（受講決定通知送付先）	〒		申込手続の担当課名	
			担当者名	
			電話番号	
			FAX番号	
			e-mailアドレス	
受講者	所属			
	役職名			
	職階（○印を記入）	1部長級　2課長級　3課長補佐級　4係長級　5主査級　6主任･主事･技師等級 ※自治体職員の方のみ記入してください。 ※不明の場合は、「6 主任･主事･技師等級」を選択してください。		
	ふりがな			
	氏名			
	年齢（研修開始日現在）	歳	性別	男・女
	本研修関連職務の通算経験年月数（研修開始日現在）		年　ヶ月	
NPO等の方	団体の活動内容、行政との協働実績等をご記入ください。			

上記のとおり、研修の受講を申し込みます。

平成　　年　　月　　日

団体の長の職　氏名

全国市町村国際文化研修所学長　あて　　公印省略可

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。
なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。

全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部　FAX 077-578-5906